

事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

公益財団法人教育支援グローバル基金

【2024年度のみの特例】

本基金は、2024年8月9日に公益財団法人に認定されたため、決算は一般財団法人教育支援グローバル基金第14期（8月8日まで）と公益財団法人教育支援グローバル基金第1期（8月9日以降）に分けて決算を行っているが、事業報告は掲記通り2024年度通期で報告する。

【主要な事業の成果】

公益財団法人教育支援グローバル基金は、2024年4月から2025年3月に、日本全国の高校生、大学生を対象とした人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。

(1) 奨学金事業

1. エンデバー2024：児童養護施設などの社会的養護の施設および里親家庭に暮らす高校生を対象とし、進学準備に際する費用（センター試験受験料、入学検定料など）を年間上限10万円の給付型の奨学金として支給する事業を実施した。支給総額は 417,534 円

2. ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2024：

親との死別・離別を経験している、児童養護施設・里親家庭・生活保護受給世帯に暮らしている、などの困難を経験しながらも、高校卒業後に進学し、社会の力となるべく研鑽を積むことを志す若者たちこそ、今後、人の心の痛みに想いを馳せ、世界や日本のために行動するリーダーになる資質を有しているという理念の下、進学のための奨学金（返済不要）年間50万円を給付。モルガンルイス・バッキアス法律事務所からのプロボノ協力の下、応募要件（保護者が死亡、単親家庭である、児童養護施設に暮らしている、里親家庭に暮らしている、生活保護受給世帯に暮らしている、のいずれか）を満たしていることの確認を法的書類によって行った。支給総額は 6,000,000 円。

3. インターンシップ・プログラム 2024：

上記 2. のジャパン未来スカラシップ・プログラムを過年度に修了した者で、継続してビヨンドトゥモローの活動に参加することを希望する者を対象に、年間を通じて各種リーダーシップ・プログラムへの参加機会の提供や、キャリア構築にむけた実践的スキル構築のためのサポートを行う「インターンシップ・プログラム」を実施した。

※上記事業の実施以外に、2025年度の奨学金事業の告知・選考活動を 2024年度に行った。

(2) 人材育成（リーダーシップ・プログラム）事業

2024年度においても、昨年度同様、オンライン・プログラムと対面型プログラムのハイブリッドで人材育成プログラムを実施し、高い頻度で仲間同士の交流や学びの機会を提供することができた。年度初めのオリエンテーション・プログラムや夏のサマー・プログラムを国内外で開催したほか、奨学生以外の高校生も参加可能な『ジャパン未来リーダーズ・サミット』を 50 名規模で実施した。オンライン・プログラムではゲストスピーカーを招いたプログラムのほか、企業協賛による特定のスキルや知識の習得を目的としたプログラム実施を行った。年度末の対面プログラムでは、翌年の奨学生との合同プログラムを 50 名規模で実施した。

1. 3 月スプリング・プログラム 2024 2024 年 3 月 24 日～26 日（東京都）

23年度および24年度のエンデバー、ジャパン未来スカラシップ・プログラム、インターンシップ・プログラム参加学生を対象に、東京都高尾市および渋谷区にて2泊3日の対面プログラムを実施した。23年度生には一年の学びの集大成となる振り返りの時間や、将来自身が伸ばしていきたい力について考えをまとめた。全国から逆境を抱えた学生が初めて仲間と出会う機会となる24年度生にむけては、ビヨンドトゥモローでの年間の活動への理解や仲間との親睦、活動における個々の目標設定を主目的とし、仲間同士のディスカッションや社会で活躍する元奨学生との交流などを行った。

2. オンライン・プログラム 2024 年 4 月～ 2025 年 3 月（オンライン：3 回開催）

24年度のエンデバー、ジャパン未来スカラシップ・プログラム、インターンシップ・プログラム参加者を対象とし、オンライン形式でのプログラムを計3回開催した。6月には企業のリーダーを務めるゲストによる講演、11月にはアコム株式会社の協力により、金融の基本的な知識や金融リテラシーを高めるための特別講座を開催した。12月にキンコーズ・ジャパン株式会社によるプレゼンテーションスキルを高めるためのパワーポイントデザイン講座を実施した。

3. サマー・プログラム 2024 年 8 月 6 日～ 10 日（石川県、福井県）、9月 8 日～ 15 日（米国）

エンデバー2024 参加者を対象に、石川県および福井県にて実施した「サマー・リトリート 2024」では、「将来のビジョン構築 ～ 逆境を経験した若者の可能性と社会への貢献～」をテーマに、石川県では能登半島地震や豪雨被害を受けた輪島市を訪れ、同世代の学生との交流などを通し、防災や復興に対する考えを深めた。また、福井県においては、原子力発電所を抱える美浜町を訪れ、エネルギーと地域における課題に触れた。最終日には、関係者にむけて高校生らによる提言発表を行った。9月には、「ジャパン未来スカラシップ・プログラム」に参加経験のある23年度、24年度生10名を選考し、夏季グローバル研修として米国

サマー・プログラムを実施した。米国ニューヨークおよびワシントンD.C.を約1週間訪問し、「リーダーシップ」をテーマに、企業やNP0の取り組みを学んだり、同世代の高校生、大学生との交流を行ったり、また政治やビジネスのフィールドで活躍される方々との対話を行った。最終日には現地にてプレゼンテーション（提言発表）を実施した。

4. ジャパン未来リーダーズ・サミット 2024 年 10 月 12 日 ～ 14 日（東京都）

親との死別・離別や、児童養護施設で生活しているなど、様々な事情により機会を得ることが難しい状況にありながらも、広く社会のために役立つ人材となる志をもつ全国の高校生・大学生を対象とし（年間奨学生含む）、本サミットでは、多様な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、「若者が考える社会的孤立」をテーマに、提言をグループ毎にまとめ、最終日には政治・行政・ビジネス・メディア・NGO など各方面のリーダーたちの前で発表する機会を提供。

「体験共有」「スピーカーセッション」「ディスカッション」「提言作成」など様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、孤独を抱える若者が自立していくために必要な施策について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。また、石川県輪島高校の学生を招待し、学生の復興プロジェクトについて発表する機会を提供した。プログラム全体においては、ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2024 に参加する大学生たちが各班のリーダーとして、高校生たちの活動をサポートする役割を果たした。

5. スプリング・プログラム 2025 年 3 月 25 ～ 27 日（東京都）

1年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる年度末プログラムを 25 年度の奨学生と合同で開催。2024 年度および 2025 年度に開催する年間プログラムに在籍する学生たちが一堂に会し、ビヨンドトゥモローでの活動について理解を深めたり、ビヨンド トゥモローでの経験をいかにその後の人生に活かすことができるかについて考えたりする卒業生とのセッションも開催した。

（年間奨学事業）

事業名	対象者	実施内容	人数	支出額（円）
エンデバー2024	児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または里親家庭に暮らしている高校生（2024 年度に 2 年次、3 年次に在籍）	全国を対象とした告知により公募を行い、書類選考、面接選考により、24 年度の参加者の選抜を実施	15 名	¥137,035

ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2024	2024 年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学する者で、及び、下記条件のいずれかを満たす者。 ・保護者が死亡 ・単親家庭である ・児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている ・里親家庭に暮らしている ・生活保護受給世帯に暮らしている	全国を対象とした告知を行い、書類選考、面接選考により、2024 年度の参加者の選抜を実施	12 名	¥614,839
-------------------------	--	--	------	----------

(リーダーシップ・プログラム事業)

事業名	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額 (円)
3月スプリング・プログラム	2024年3月24日～26日	東京都	エンデバー2023、2024年度、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2023、2024年度、インターンシップ・プログラム2023、2024年度参加者	51名	23 年度、24年度奨学生を対象に、東京都にて2泊3日の対面プログラムを実施した。24年度生は、1年間の学びの振り返り活動を中心に行った。24年度生は、年間活動への理解や、仲間との親睦、年間活動目標を設定した。	¥2,489,620
オンライン・プログラム2024	2024年4月～2025年3月 (計3回)	オンライン	エンデバー2024、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2024、インターンシップ・プログラム2024	33名	オンラインではゲストのライフストーリーを紐解きながらキャリアや人生について考えたり、企業の協賛により実践的な知識やスキルを向上するための講座を実施した。	費用計上せず
サマー・リトリート2024	2024年8月6日～10日	石川県、福井県	エンデバー2024、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2024(6名)、インターンシップ・プログラム (3名)	22名	「将来のビジョン構築 ～ 逆境を経験した若者の可能性と社会への貢献～」をプログラムテーマに、能登半島地震や豪雨で被災した輪島高校で同世代交流を行ったり、福井県では防災学習エネルギー供給地域の課題に触れ、地域貢献と自身の将来について考える機会を持った。	¥7,696,382
米国サマー・プログラム2024	2024年9月8日～15日	米国ニューヨーク、ワシントンD.C.	ジャパン未来スカラシップ・プログラム2023 (5名)、2024(5名)	10名	多様性やイノベーションに触れながら「グローバル・リーダーシップ」を学び、互いに刺激し合う経験を通して視野を広げることを目的とし、企業やNPO訪問、政治やビジネスリーダーとの対話などを行った。	¥14,444,822
ジャパン未来リーダーズ・サミ	2024年10月12日～14日	東京都	エンデバー2024、ジャパン未来スカラシップ・プログラ	59名	「若者による社会的孤立」をテーマに3日間グループでディスカッションを行った。社会課	¥9,700,375

ット			ム2024、インターンシップ・プログラム2024、一般応募による参加学生（高校生）		題に関するパネルセッション、被災地からのゲスト招致等を通じて、多様な視点で共同課題解決を図り、高校生が自ら考えるアクション・プランをまとめ、最終日に発表した。	
スプリング・プログラム	2025年3月25日～27日	東京都	エンデバー2024、2025年度、ジャパン未来スカラシップ・プログラム2024、2025年度、インターンシップ・プログラム2024、2025年度参加者	46名	24 年度奨学生および 25 年度奨学生が合同で行うプログラム。24 年度生は 1 年間の学びの振り返りを行うとともに、これからの自分の役割やリーダーシップについて考えを深めた。25 年度生はこれからの 1 年間を見据え、1 年後にどのように成長していきたいかを目標設定した。	¥2,162,203